

28年4月1日

プロジェクト報告書

団体名 社会福祉法人
中央有鄰学院

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現が「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度、写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

しょうわの仲間で行く、スキー、スノーボード合宿

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。
自主参加ホーム入所する児童は、家族旅行や就学旅行等の機会に恵まらず、楽しい思い出づくりや新しい体験を積み重ねる機会が乏しいのが現状です。そのため、将来を悲観的に考え、趣味や仕事へのやりがいを見出すことが難しく、「生きが」が弱い子どもたちが多く存在します。当施設に入所している子ども、仲間との絆を育む上での特別な体験、生きがいや自信につなげるような体験を行うことで、多くの経験をしたいと考えています。スキー・スノーボードは、ただ楽しむだけでなく、技術的に技術を必要とするスポーツなので、

3. プロジェクトの内容 300文字まで 此の機会に体験せたいと考えています。

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。
岐阜県の高橋にあるスキー場に出かけました。当施設からは車でのアクセスも良く、レジャーを借りて現地に向かいました。スノーボードをそれぞれレンタルし、現地スタンプによる専門的な指導を受けた後、職員ら際のもと滑走をしました。1泊2日のレッスンを通じ、自信を付け、「でき」ということでレベルアップの技術を習得し、自信に繋がっていました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

子ども達の自主性を尊重するため、宿泊先の決定、滞在中の食事、行程等を一斉に考え、計画を立てました。普段の生活ではあまり自主的に動かない子ども達も率先して行程の確認や食事の準備を行いました。全員で「スノーボード」を体験し、今まで「距離が」あった子どもも同じ体験を通して距離を縮め、お互いのことを考え、協調性もたつて行動がはかまりました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

全体を通して、今更「旅行や泊まりがけでの外出の経験がない子どもたちが、今日の軽装体験を通して、寝かでのことにチャレンジすることの楽しさ、みんなで同じ思いを共有する喜び、集団行動の大切さや協調性の大切さを学ぶにこそが一番の収穫だ」と考えます。普段のレクイエーションでは予算の問題から泊まりがけや大がかりな体験活動は難しく、今回実現できたこのプロジェクトが、いかに貴重で子どもたちの日々の生活の中で仕事や自主への不安を和らげてくれようというフレキシビリティに、かえり常務理事の子ども達の働きぶりから感じることができました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。 参考資料あり・特になし